

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果

4月18日に、本校6年生87名を対象に実施された『全国学力・学習状況調査』について結果がまとまりましたのでお知らせします。本調査は、国語科・算数科の2教科と同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。国語科・算数科の結果概要と児童質問紙調査の結果から本校の子どもたちの状況をお伝えします。

国語科より

全体の正答率は全国・京都府平均を大きく上回りました。全ての設問で正答率が全国平均・京都府平均を上回っていましたが、「**B 書くこと**」「**記述式の問題**」に無解答率も含めて、若干の弱さが見られます。学習の中で、自分の考えやふりかえりをまとめたり、構成を考えて文章にする経験を増やし、あきらめずに最後までまとめる力を身につけてほしいと思います。

一方で、「漢字を文の中で正しく使う」問題では、昨年度よりも改善が見られ、無解答率も下がりました。昨年度の課題を受けて、漢字の指導や家庭学習の工夫をした成果や日頃の家庭学習での漢字の練習や、ミニテスト・50問テストに向けて意欲的に取り組んでいることが、正答率の上昇につながっていると考えられます。丁寧に時間をかけて書くことで、習得率が上がるので、漢字の練習だけでなく、普段の「書く」活動全てに、「力を入れて」「形をとらえて」書く力を身につけることが大切です。

算数科より

全体の正答率は全国・京都府平均を上回っています。ほとんどの設問で、概ね全国平均・京都府平均を上回っていましたが、「**I(1) 変化と関係**」「**I(4) 数と計算**」で全国平均・京都府平均を下回っていました。6cmずつ増える変化を読み取って足し算をしたり、 50×40 のかけ算の答えを求めたりするなど、落ち着いて計算すれば正答できる問題を間違っており、丁寧に計算に取り組む経験を増やすことが大切だと考えます。

(実際に出された問題です→)

(4) いすを1列に50きやくずつ、40列並べるとすると、全部のいすの数は、 50×40 で求めることができます。
いすは全部で何きやくになりますか。
答えを書きましょう。

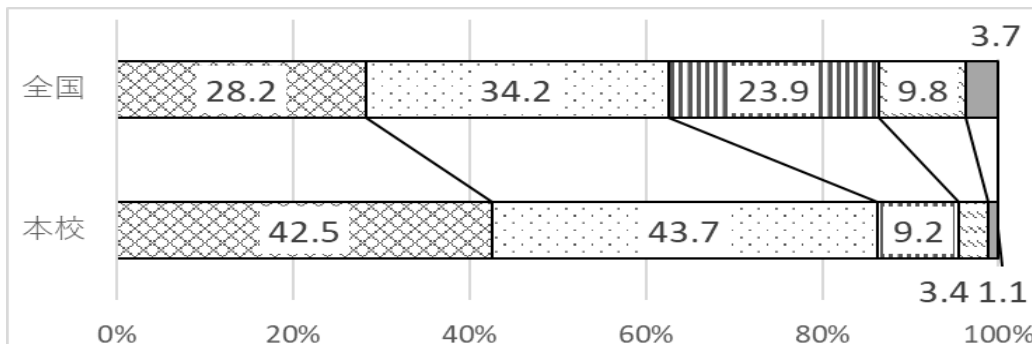
また、領域全般で見ると「**B 図形**」、問題形式で見ると「**記述式の問題**」に少し弱さが見られ、無解答も若干ありました。図形の問題では、「実際に操作したり測ったりして、イメージを正確にもつ」ことが大切です。普段から図形の形や長さなど身の回りのものに目を向け、生活と結び付けていきたいです。また、長い文章問題など情報を整理して自分の考えをまとめることに苦手意識をもち、あきらめてしまっている様子も見られます。日頃の授業の中で、自分の考えをしっかりと表し、友達との話し合いを通して理解を深めるために、協働的な学びを進めていますが、さらに機会を増やし工夫していきたいと思います。

児童質問紙より①

1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満

Q. 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

	1	2	3	4	5
本校	42.5	43.7	9.2	3.4	1.1
全国	28.2	34.2	23.9	9.8	3.7



一人一人の考えの共有や協働的な学びの成立のために、これまでの積み重ねを大切にしながら、ICT機器の活用に取り組んでいます。今年度も、授業だけでなく、家庭学習でも効率的に活用しています。

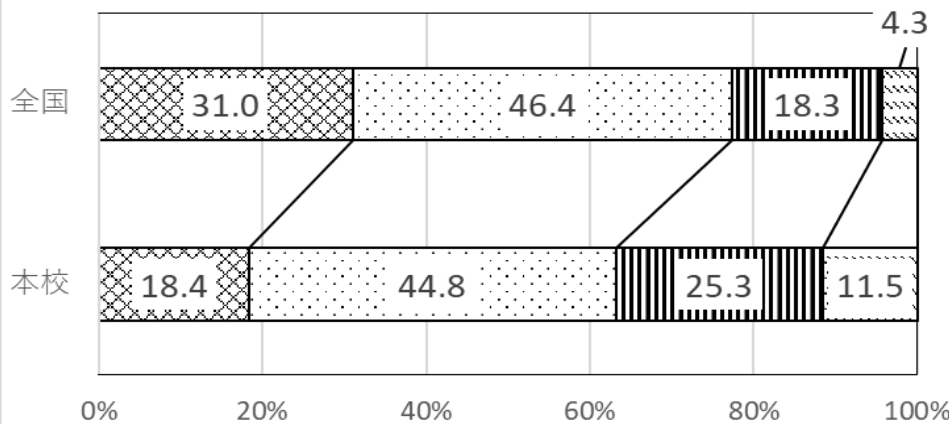
(裏面もご覧ください)

児童質問紙より②

1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない

Q. 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

	1	2	3	4
本校	18.4	44.8	25.3	11.5
全国	31.0	46.4	18.3	4.3



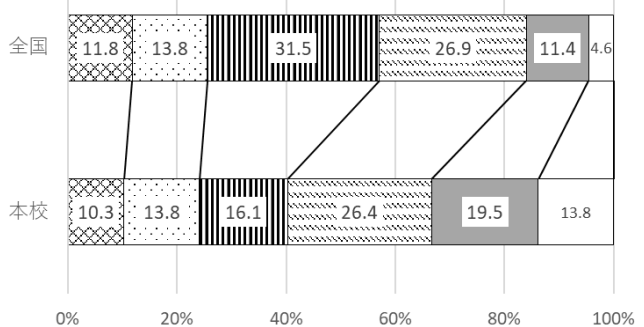
学習のふりかえりを確実に
行うことで、知識の定着につな
がります。授業だけでなく、自学
でもふりかえる経験を増やし、
ノートにまとめる力をつけること
で理解が深まります。テスト直
し等、解説をしっかりと聞いたり
手引きを活用したりして、次に
同じ間違いを繰り返さないよう
にすることが大切です。

児童質問紙より③

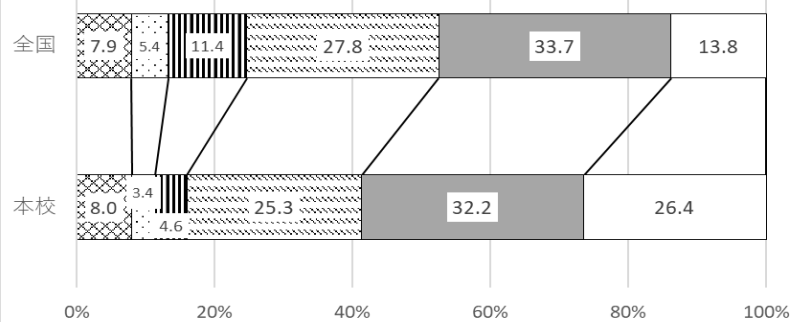
1. 4時間以上 2. 3～4時間 3. 2～3時間 4. 1～2時間 5. 1時間より少ない 6. 全くしない

Q. 学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

【月～金】	1	2	3	4	5	6
本校	10.3	13.8	16.1	26.4	19.5	13.8
全国	11.8	13.8	31.5	26.9	11.4	4.6



【土日等学校が休みの日】	1	2	3	4	5	6
本校	8.0	3.4	4.6	25.3	32.2	26.4
全国	7.9	5.4	11.4	27.8	33.7	13.8



平日も学校が休みの日も、「3時間以上」勉強をしている子が一定数いる反面、「1時間より少ない」「まったくしない」と回答した子が全国平均より多い結果となりました。習い事等、ご家庭の事情もあるかと思いますが、半分以上の子が土日等学校が休みの日に0～1時間しか勉強をしていないという結果は、これからの中学校生活に向けて大きな課題です。学校から出された課題にとどまらず、自分で計画して学習に向かう素地をつけていくことが、子どもたちの継続した学びのために大切です。

成果と課題

国語・算数の正答率は、全国平均よりも上回った半面、児童質問紙の結果は、全国平均を下回る項目が多く、特に「1. 当てはまる」と自信をもってはっきり答える子が全国平均に比べて本校平均は少ないことが目立ちました。また、「家で計画を立てて勉強をしていますか」「将来の夢や目標を持っていますか」といった見通しをもって考え行動にうつすことに課題があるようです。さらに、「地域や社会への参画について」「外国との関わりについて」等、これからの社会で求められる項目についても満足できる結果に至っていません。学校での学習内容と家庭学習・自主学習ノートの取組との連動、自己有用感の高揚のための学校教育活動、人との関わりを意識し大切にする取組など、今後も学校教育目標実現のために、教職員一同、一致団結して取り組んでいきたいと思ひます。また、ご家庭での積極的な関わりや支援が子どもの学力の上昇や学校生活の安定につながります。引き続き、健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。